

会議録

会 議 名	第8回公共施設マネジメント推進計画検討会
日 時	平成28年7月15日(金) 午後2時～3時30分
場 所	八王子駅南口総合事務所 会議室
出 席 者	木村 俊介、倉斗 綾子、増尾 喜久、渡辺 悠子
事 務 局	行財政改革部長 吉徳 光男 行政管理課長 田倉 洋一 建築課長 柳 吉人 学校教育政策課長 小俣 勇人 学校複合施設整備課長 兼 行財政改革部学校施設活用推進担当課長 内野 茂樹 学校教育政策課専門幹兼主査 松本 眞次 行政管理課課長補佐兼主査 高嶋 秀樹 行政管理課主任 櫛島 孝志
欠 席 者 氏 名	なし
議 題	(1) 公共施設マネジメント推進計画の構成(案)について (2) 学校施設の複合化に当たっての考え方について (3) 施設類型別のマネジメント取組方針について (4) その他
公開・非公開の別	公開
非 公 開 理 由	
傍 聴 人 の 数	なし
配 布 資 料 名	資料 1：公共施設マネジメント推進計画の構成(案)について 資料 2：学校施設の複合化に当たっての考え方について 資料 3：施設類型別のマネジメント手法について 資料 4：施設類型別のマネジメント取組方針について 資料 5：基本方針(抜粋)※ 資料 6：施設類型別分類※ 資料 7：今後のスケジュール※ ※ 当日机上配布
会 議 の 内 容	
<p>(1) 公共施設マネジメント推進計画の構成(案)について</p> <p>【事務局】(資料1)に基づき説明)</p> <p>【委員】現在の(案)では、5章で数値目標を掲げているが、2章と3章の間に目標がきても良いのでは。目標を出した後で、学校やその他の施設について、こうしていきますと示したほうが流れとしては読みやすい。</p>	

【委員】2章の中に「公共施設マネジメント基本方針」があって、次の3章に「公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針」とある。「基本方針」が続いていてわかりにくい。

【座長】3章の1が学校に特化した内容で、2、3、4は公共施設全般に関する事。話の広さからいうと2、3、4のほうが広い範囲の話になるが、あえてこの順番にしているのは、この計画は学校がメインになるということを強調するためか。

【事務局】学校をどうマネジメントしていくのが、一番の課題になるという意識は持っているが、構成としては確かに全体の話の先に記載するほうが一般的かもしれないので、他のご意見とあわせて次回までに修正する。

【座長】この計画の中で推進目標を数値として示すということは、責任をもってその目標を達成するための手段を説明しなければならない。どの分類の施設をどれだけ減らすとか、こういった手法を使うといった話はすべて個別の施設の実行計画まで先送り、というわけにもいかないと思う。

(2) 学校施設の複合化に当たっての考え方について

【事務局】(資料2)に基づき説明)

【委員】学校を複合施設化するときのメリットは、子どもの教育面でのメリットを強調したほうが地域にとっては理解を得られやすいのでは。この資料では公共施設としてのメリット、デメリットという位置づけが強い気がする。

【委員】学校を複合化したときのメリットとして、各機能の相乗効果による付加価値の上昇、デメリットとしては複合化する際に一時的にも投資が必要になるということを追加してはどうか。また、資料ではメリットに対してデメリット(課題)があげられているが、この課題に対しての対応案が示されていると良い。

【委員】ハードとしての複合化についてのイメージが強いが、ソフト面での複合化、異なる施設が一緒になり、どう運営していくかといったイメージ、理念を持っていないと各機能の相乗効果は期待できない。ただ隣人になりました、で終わってしまわないようにしなければいけない。

【座長】スポーツ施設と複合化し、学校にも開放するなどのアイデアも記載すべき。また、この表を読んだ人の意識としては、1から順に複合化する施設の優先順位と捉えてしまうと思うので、順番については策定までに整理しておいたほうが良いのでは。

【事務局】それぞれの地域性があるので、この地域には図書館が必要、この地域では保育園が欲しいといった個別の事情が出てくるのが予想され、優先順位をつけるのは難しいと考えている。

【事務局】それぞれの地域で何が必要なのかを地域住民と話し合い、複合化する施設を検討していく方針なので、市がどういった分類の施設を最優先に複合化していくか、順位づけをする予定はない。学校の老朽化による改築時期にあわせ、地域に対し周辺の公共施設の状況などを示し、「複合化するならこういう施設をすべき」といった声を地域からあげていただくようになるのが理想。

【委員】福祉保健施設のデメリットに「施設利用者の動線の検討」とあるが、施設の性質によって、車での来場が予想される施設の場合には、駐車場の確保をはじめ、車と児童との動線の検討などが必要。

【委員】地域から出てきた意見で複合施設を決めるのは正論ではあるが、並行して市ではコストなどの、複合化する際の制限条件となるデータや、市の意思や目的を持っておいたほうが議論がぶれたときに修正しやすいのでは。

【事務局】どういう形式で地域に意見を聴くかは未定だが、始めは理想の施設があげられると思うので、予算上の制約を示したうえで議論を重ね、何が本当に必要なのかを考えることで、次第に地域の意見が集約されていくのだと思う。

【委員】さいたま市で以前に実施したワークショップでは、複合化した場合にはこれくらいの面積を縮小しなければいけないといった制約を設けて話し合ってもらった。コスト面ではなく、面積で考えてもらったほうが市民はイメージしやすい。

【座長】全体の数値目標の実現に向けて、学校を何校分複合化するとか、何%の面積を縮減するといった目算はついているのか。

【事務局】現時点では何%などの具体的な数値目標はないが、施設マネジメントを進めるうえで、人口減少に伴い施設総量の縮減を図っていかなくてはならない。本市の公共施設全体の6割を占める学校教育施設についても例外ではない。

【事務局】老朽化した学校の改築にあわせて、統合や小中一貫校、他の公共施設等との複合化など、学校ごとに地域の特性を考慮し、様々な手法を進めることによって、結果として総量が縮減されることもあるかもしれない。

今後策定する実施計画で学校のマネジメントの方向性を示すこととなるが、それぞれの地域で話し合いを重ね、いくつかの選択肢の中から、その地域ごとに学校のあり方を決めていくことになる。

【委員】地域との今後の話し合いが上手く進むのかといった点に不安を抱えている自治体も多いと聞いている。例えば、八王子市は市域も広く地域によって特性も違うので、敷地の形状や地域の特性に応じて「この学校は福祉に特化した複合施設」といった学校ごとの特色づけをするのも良いかもしれない。

(3) 施設類型別のマネジメント取組方針について

【事務局】〔資料3〕、〔資料4〕に基づき説明)

【座長】〔資料4〕では最大限にソフトな表現をしているというのが率直な感想。類型別の方針の前に「市民生活における必需性」や「民間サービスによる代替性」といった基準から評価をしているのであれば、必需性が低く、民間サービスによる代替性も高いものについては、もう少し踏み込んだ表現をしても良いのでは。推進計画が始まって、比較的早い段階で成果を出せるような施設に目星を付けておいたほうが良い。実績ゼロというわけにもいかないだろうと思う。

【委員】結局何もせんと読みとれるものが多いので、表現を踏み込むところは踏み込んだほうが良いのでは。

【委員】〔資料4〕の後半のインフラ部分に関して、道路についてはバリアフリーを推進していくとか、中水道についても、現在「維持していく」のみのような表現となっているが、最先端技術だと思うので、拡充を図ったり付加価値を高めるようなことが追加で言えば良い。清掃工場の取組方針の中では「最先端の環境対策を取り入れ、効率的に熱エネルギー回収を行い、積極的に発電・売電を行うことで、温室効果ガスを削減する」と書かれているように、その他のインフラに関してプラスアルファになるようなことが言え

れば、面積の縮小とか、コストの削減だけでなく、機能面を向上させるための投資もしているという前向きな表現になる。

【事務局】中水道については拡充は難しいと思うが、それ以外のインフラについては、ご意見を取り入れたい。

【委員】都市公園について、公民連携に関する記載が少し足りない気がする。カフェ等の民間事業を公園内に取り入れて、公園使用料を得たり、民間事業者の収益の一部を公園の維持管理費用に充ててもらおう等、公園で収益をあげるような仕組みが全国的に増えているので、そういった視点も入れてはどうか。

【座長】インフラに関しては、この計画の策定と財政推計とをどうリンクさせていくのか。現在の年間維持管理費用と、今後30年間で予想される費用との比較等はできているのか。

【事務局】将来費用の推計がまだできていないので、推進計画の段階では数字の裏付けのない概念的な表現にとどまらざるを得ない。個別の計画を策定していく段階では、一番費用がかかることが予想される下水道事業は、地方公営企業法を適用し、会計方式等に公営企業会計を適用することが国から要請されているので、平成32年4月の適用に向け、資産の整理を行い、そこで明らかにしていかなければいけない。

【座長】道路の維持管理の包括委託について、調査研究を行っていくとあるが、既に包括委託を実施している他市の、今後の実績がある程度でできた中で検討するということか。

【事務局】他市の動向を今後参考にしていきたい。

(4) その他

【事務局】(今後のスケジュールについて説明。次回の検討会は8月26日。)

5月に「八王子市公共施設に関するアンケート調査」を実施した。回答率は52%。現在集計中なので、次回の検討会では結果を報告できると思う。

【座長】本日の審議の項目は全て終了した。以上を持って、本日の検討会を終了する。